

# 自由であり続けるために、

JYUU DE ARI TUDUKERU TAMENI

# 僕らは夢でメシを喰う

新装版

BOKURA WA YUME DE MESHI WO KUU

## 自分の店

【監修】

SANCTUARY  
BOOKS

SANCTUARY BOOKS



[新装版]

自由であり続けるために、僕らは夢でメシを喰う

自分の店

SHOP

SANCTUARY BOOKS

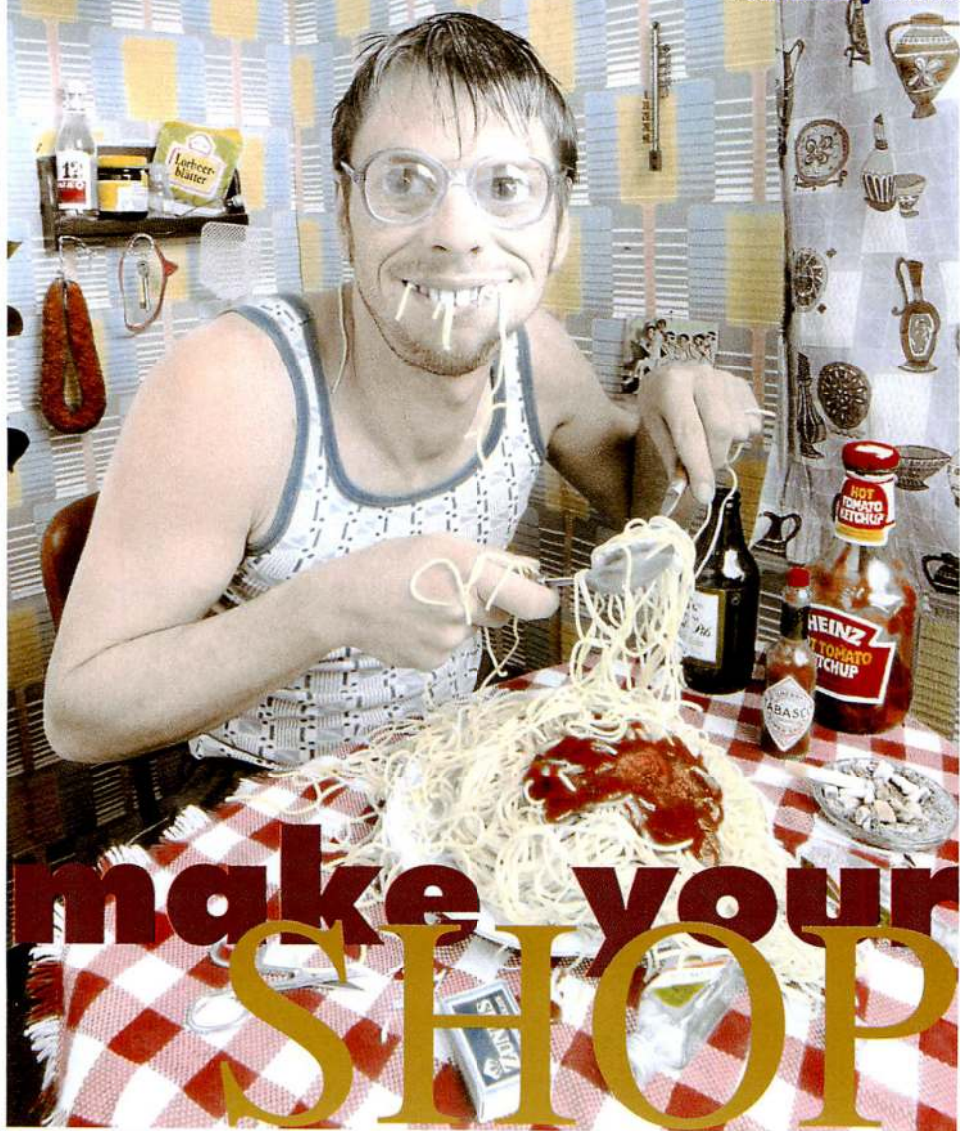


# YUMS

YUME MESHI SHOP



editing **sanctuary books**



make your  
**SHOP**

A photograph of two men from behind, walking away on a city street at night. They are wearing white tank tops and white briefs. The man on the left is wearing a watch on his left wrist. The man on the right is wearing a watch on his right wrist and a blue and white striped sock on his right foot. They are walking past a building with a sign that says "RESTAURANT" and a car. The street is dark, and there are some lights visible in the background.


# SPIRITS

>>SPIRITS 001

# ADVENTURE LIFE

毎日を冒険のように生きるために…  
店を持つ。





退屈な人生に別れを告げよう。店を持つというのは大きな賭けだ。  
ギャンブルだ。リスクも背負う。明日のことさえわからない。  
でも、だからこそ楽しい。

一日一日が、ドキドキとワクワクの連続。

誰に会うのか、何が起こるのか、何を見るのか…

店を持つことで毎日が冒険になる。

同じレールの上を行ったり来たりする、今までの安定した先の見える生活から、  
いつも刺激的な魅力あふれる生活にシフトしよう。

この街のストリートだって、ちゃんと冒険はできる。

# SPIRITS

>>SPIRITS 002

## カッコイイ人生のアーティストになるために…店を持つ。

人は皆、「自分」という人生のアーティストだ。  
いかに美しく、いかに過激に、いかにカッコよく、  
いかにセクシーに、自分の人生をデザインするか。  
店さえあれば誰でもアーティストになれる。  
楽器が弾けなくても、文章が書けなくても、絵がヘタクソでも、  
特別な才能なんて無くても、店を創ることでオリジナルの表現ができる。  
アーティストとして、「自分の店」という作品を発表するのは最高に楽しい。  
店は自分の分身でもある。  
自分はどんな人間か、自分はどう生きたいのか、  
それを店がすべて表現してくれる。  
「自分の店」という作品を生み出し、自分の生きた足跡をはっきり残したい。

THE BEST CRE



A photograph of a shirtless man with dark hair, wearing dark sunglasses and holding a lit cigarette in his mouth. He is lying on his side on a grassy area, with his legs bent and one arm resting on his knee. The background consists of green trees under a clear blue sky. The overall tone is relaxed and summery.

**ATION OF LIFE**

# SPIRITS

>>SPIRITS 003



## MY SECRET GARDEN

**仲間と楽しく過ごす基地＝アジトを  
創るために…店を持つ。**

店は自分たちの基地になる。

店仲間と創る秘密のアジト。

気の合う連中と、新しい何かを生み出すための作戦基地。

毎日楽しく過ごすための、サークルや部室の延長線。

夜な夜なタムロして、ヤバい計画を練るための隠れ家。

使い方は自由。どこにもルールはない。

自分の個性が、ライフスタイルが、人間関係が、

自然に「自分の店」をカタチ創る。

そこは家でも仕事場でもない第三の場所。

全てのしがらみから解放され、ありのままの自分に帰れる場所。

「自分の店」に集まると、僕らはトム・ソーヤーになる。



# TREASURE ISLAND

SPRITS

>>SPRITS 004

好きなもの、好きな音楽に囲まれて  
暮らすために…店を持つ。



好きなことしかしたくない。  
好きなものに囲まれて生きていきたい。  
「自分の店」では一日中、  
自分の好きな音楽や映像が流れ、  
自分の好きなアイテムが並んでいる。  
そこは自分だけの特別な空間。  
「自分の店」にいれば、いつでもパワーにあふれ、元気になれる。  
そこは自分にとってのパワースポット。  
嫌いなものを受け入れる必要はない。  
苦手なものや付き合っている暇もない。  
好きなものしか見ない。好きなことしかしない。  
好きなときに、好きな人と、好きなように、生きていこう。  
「好き」にこだわるのは、決して難しいことじゃない。

# SPIRITS

>>SPIRITS 005

# TRUE PARADISE

好きな場所で自分らしく暮らすために…  
店を持つ。

海の近くで、サーフィンをして暮らしたい。  
山を見ながら、野生の動物に囲まれて生活したい。  
島に住んで、のんびりとした時間を過ごしたい。  
都会のと真ん中で、刺激的な毎日を送りたい。  
店を創れば、好きな場所で生きていける。  
店の経営ノウハウさえあれば、好きな場所へ動いていける。  
好きな場所がはっきりしたら、どうするか。  
そこに「自分の店」を開けばいい。  
世界中どこに行っても、店はあるんだから。









**SPIRITS**  
-SPIRITS 006

# 21'st GOLDRUSH

莫大な金を稼ぐために…  
店を持つ。



お金は全てじゃない。

大切なことは他に沢山ある。

やりたいことだって数え切れないほどある。

だけど、お金さえあればできることも、また沢山ある。

欲しいモノは山のようにある。

大きな夢や計画に向かうためのツールにもしたい。

店があれば、一攫千金を狙うことができる。

特別な才能が無くても、金持ちの親がいなくても、

ギャンブル運に頼らなくてもいい。

無一文・未経験・コネ無しから、「自分の店」は始められる。

本気になれば、店なんてすぐに出せる。

莫大な金を稼ぐために、店を開くのも悪くない。



# ZERO START

# SPRITS

>>SPIRITS 007



**ゼロからスタートするために…  
店を持つ。**

過去は振り返りたくない。

今を生きたい。

全てを捨てて、ゼロから始めたい。

世間、会社、両親、友たち…、

自分を取り巻くあらゆる環境から、独立するための店。

今までの自分から脱皮して、全く新しい自分を創るための店。

これまで守ってきたもの、

ずっと縛られてきたものをリセットし、

思い切ってゼロから始めよう。

生き方をシフトすれば、人生はこんなに気軽に楽しく、

メチャクチャ面白い。

# SPIRITS

>>SPIRITS 008

## KNOCKIN' ON HEAVEN'S DOOR

壮大な夢へのきっかけを掴むために…  
店を持つ。

「自分の店」という結果を出すことから、何かが始まりそうだ。

自分と将来をつなぐ夢の架け橋…それが、自分の店。

店をもっと大きな夢へのきっかけにしよう。

店を持てば、自信が生まれる。怖いものなんて無くなる。

成功か失敗か、なんて究極の問題じゃなくなる。

店が全てじゃないかもしれない。

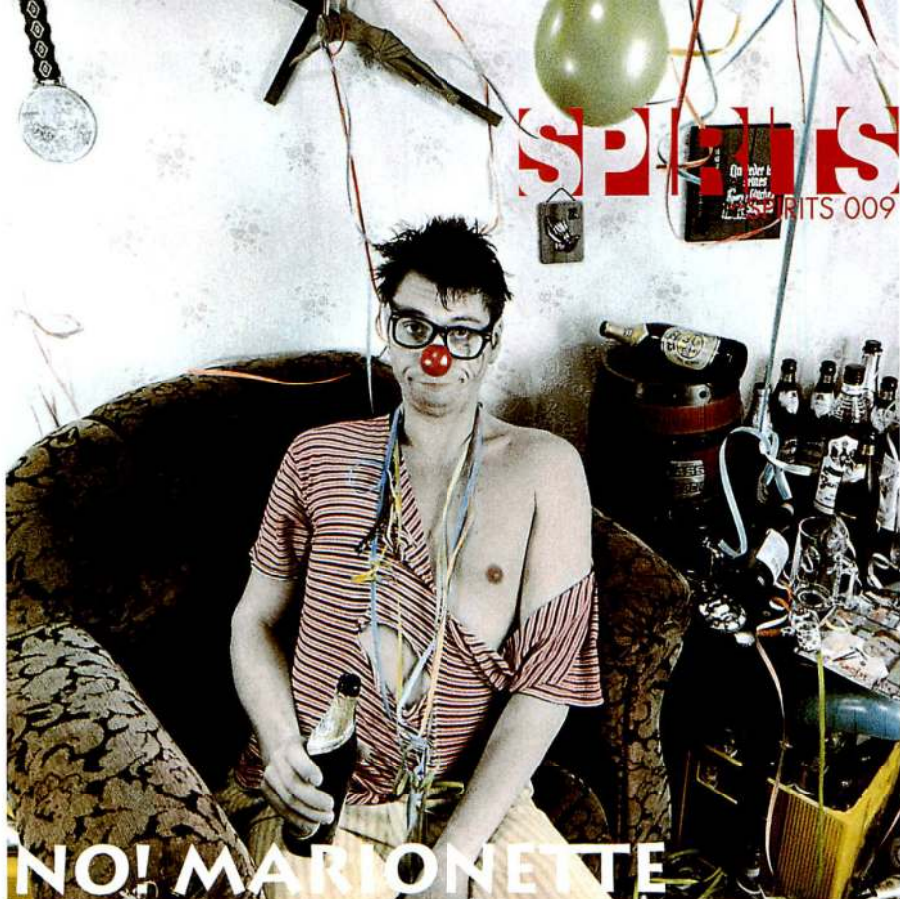
店がゴールじゃないかもしれない。

それでも店は、壮大な夢に向かうための突破口になる。

店での経験や出会いが、さらに新しい夢を創ってくれることもある。

まず店を創ることが、伝説の第一歩。





## 他人に使われず、自分勝手に生きるために… 店を持つ。

就職しないで生きていきたい…「自分の店」を持てばそれが可能になる。

誰にもコキ使われず、会社にも縛られず、  
競争社会からも自由に、自分勝手に生きていける。

「会社に就職する」ということは、

人生にある無数の可能性の、ほんの一つの選択肢でしかない。

もちろん会社に入っても楽しくやっていたら、

安定を得られるし、それなりに夢だって持てる。

ただ、つまらないルールや常識が多すぎる。

「自分の店」では自分自身がルールブックだ。

成功も失敗も、全てが自分次第。

成功したらヒーロー。失敗しても、経験という素晴らしい財産が残る。

恐れることは何も無い。自分のカラーで勝負すればいい。

**SPRITS**

>SPRITS 010

BACK TO YOURSELF

A young girl with dark hair pulled back, wearing a black dress with a small white floral pattern, is shown in profile from the chest up. She is looking towards the right with a thoughtful expression. Her right hand is raised, palm facing forward, as if she is about to touch something or is in the middle of a conversation. The background is a blurred market stall with various items, including what appears to be a red container and some produce. The lighting is warm and slightly dim, suggesting an indoor or evening market setting.





**自由であり続けるために、  
自分であり続けるために…  
店を持つ。**

たった数十万円の生活費のために、  
「自分」と「自由」を売るのはバカげている。  
なりたい職業をムリに探すのはやめる。  
つまらないと感じる仕事をイヤイヤ続けていてもしょうがない。  
仕事は探したり選んだりするものじゃなく、  
自分で創って、育てていくものだ。  
「自分の店」を始めれば、  
自分のやりたいことがそのまま自分の仕事になる。  
「〇〇屋さん」という概念にもとらわれず、  
自分の好きなものを好きなだけ売ればいい。  
そこらへんの店とはまるで違うスタイルの、  
自分だけのオリジナルな店を創ろう。

**TO BE YOURSELF  
ALL THE TIME.  
TO KEEP YOURSELF FREE  
ALL THE TIME.**



**YES!  
WE ARE FREE!!**





# DREAM

## ★ PROLOGUE

自由であり続けるために、僕は夢でメシを喰う

### YUME-MESHI



# DREAM

# 夢でメシ

---

僕らは「夢」でメシが喰えることを知らなかった。

自分達は特別な才能を持っていないのだから、生活していくためには嫌な仕事でも我慢して続けていくしかないんだ、と勘違いしていた。

そんなある日、僕らは「自分の店」という生き方のスタイルを知った。

「他人に使われたくない」

「好きなもの、好きな音楽に囲まれて暮らしたい」

「好きな場所で暮らしたい」

「好きな仲間と楽しく暮らしていきたい」

「基地、隠れ家、アジトがほしい」

「マイペースでのんびりやりたい」

「大金を稼ぎたい」

「新しい“何か”が生まれる空間を自分達の手で創りたい」

…そんないくつもの贅沢な想いが、「自分の店」によって、すべて実現できることを知った。僕らにも「夢」でメシを喰っていける方法があることを知った。

---

**「自由」であり続けるために、  
「自分」であり続けるために。**



# は喰える

---

「自分の店が持ちたい！」

無一文&未経験&コネなし。不安を抱え本当のゼロから始めた僕らは、たくさんの失敗を繰り返しながらも、最終的に、なんとか「自分の店」を手に入れることができた。

それから数年。数多くの出会い、友情、恋心、夢、そして自信を育みながら、僕らの店は増え続けている。

「自分の店」というスタイルとの出会いをきっかけに、自分らしく自由に生きていける楽しさを知った僕らは、その想いをこの本に込めた。

「自分の店」でHAPPYになるためのスピリッツ。

「自分の店」をイメージするためのカタログ。

「自分の店」を手に入れるためのリアルアクションガイド。

無一文&未経験&コネなしからスタートして、「自分の店」という夢を実現するために必要なエッセンスはすべて書いてある。

この本と情熱さえあれば、「自分の店」は必ず持てる。

---

**「自分の店」を始めた僕らから、  
「自分の店」を始めたいあなたに、  
この本を贈る。**